

2008年11月11日

杉並区長 山田 宏 様

杉並の教育を考えるみんなの会
連絡先：<削除>

要 請 書

11月30日をもって、2名の教育委員が任期満了となります。次期教育委員の任命をされるにあたり、以下のことを要請します。

1. 教育現場の声を汲み取る姿勢を持ち、学校現場を経験している教職経験者を任命してください。
2. 教育委員会の構成として、女性の教育委員を最低あと1名は任命してください。

要請の趣旨

教育委員会は、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教科書その他の教材の取り扱い、教育職員の身分取り扱い事務などを取り扱う、教育行政上重要な任務を負うものです(地方自治法180条8)。教育委員の任命にあたっては、この任務を誠実に担う委員を選任していただくことを切に願う次第です。

とくに、2005年の中学校教科書採択では、学校から報告された調査報告などの内容を無視して、教育委員の恣意的な判断により、『歴史』教科書について「つくる会」教科書が採択されました。しかし、この「つくる会」は、すでに分裂し、扶桑社版『歴史』教科書の著作権をめくり、教科書執筆者が、発行元の扶桑社に発行停止を求める訴訟まで起こしました。学校には扶桑社の担当社員が、だめな教科書であることを認める発言をしながら、教員に教科書記述の間違いを聞いて歩いていたとも聞きます。このように学校現場に混乱をもたらし、他地域ではほとんど採択されなかった教科書を採択した教育委員の責任は重大です。

また、2007年、杉並区議会では「沖縄戦『集団自決』についての教科書検定に関する意見書」を賛成多数で採択しています。そこでは、「教科書は、未来を担う子どもたちに事実を伝える重要な役割を担っている。沖縄戦における『集団自決』の事実を正しく伝え、沖縄戦の実相を教訓とすることの重要性や、平和を希求する必要性を子どもたちに教えていくことは、我々に課せられた重要な責務である。」と述べています。この姿勢を堅持できる教育委員の選任を強く望みます。

以上のような視点に立った上で、教育現場の経験豊かな方を教育委員にぜひ入れていただきたいと思います。また、教育委員会全体の構成についても、年齢、男女比について偏りのないように、教育委員を選任して下さるようお願いいたします。

私たちは、子どもたちの最善の利益を優先することを第一と考え、現場の声に耳を傾けられる教育委員の選任を強く要望するものです。

以上、よろしく願いいたします。